

## ロバート・アレクシー教授セミナーのご案内

日時：2014年11月24日（祝）15:00～17:00

会場：石川四高記念文化交流館・多目的利用室3（金沢市広坂 2-2-5）

報告者：ロバート・アレクシー教授（Prof. Dr. Dr. h.c. mult. Robert Alexy）  
（ドイツ・キール大学法学部）

テーマ：「包摂的非実証主義（Inklusiver Nichtpositivismus）について」

### セミナー概要：

アレクシー教授はドイツの非常に著名な公法学者・法哲学者です。今回のテーマ「包摂的非実証主義（Inklusiver Nichtpositivismus）」とは、法実証主義に反対する立場の一種です。法実証主義とは、(1)憲法が定める所定の手続き（国会の審議など）を経て制定されており、(2)法に従うことを強制する実力（裁判所や警察などの国家権力）をともなっている法律であれば、(3)たとえ内容が正義に反するものであっても「法」である、という立場です。これに対して非法実証主義者は、(3)の部分を否定し、内容が正義に反していれば法ではない、と主張します。アレクシーはこの非法実証主義の立場をさらに分類し、(1)(2)の要素を考慮せず、正義に反する法律は「常に」法ではないと主張する排他的非実証主義（Exklusiver Nichtpositivismus）と自らの立場を区別し、(1)(2)の要素も法の必須の条件として包摂し、それらの条件を満たしている法律は原則として法と呼べるが、極端に正義に反する法律はそうではない、とする「包摂的非実証主義」の立場を採用しています。近年、アレクシーはこのテーマに精力的に取り組んでおり、今回のセミナーでも、世界の多くの法実証主義者との議論をふまえた、彼の最新の考えに触れることができると思います。

当日は、11月29日（土）に中央大学法科大学院で開催されるアレクシーの講演原稿とその和訳を配布し、その内容を足立が日本語で紹介した上で議論をする予定です。

\*本セミナーは金沢大学基礎法研究会と石川日独協会の共催です。

\*本セミナーは日本学術振興会より外国人研究者招聘事業としての補助を受けています。

お問い合わせ：足立英彦 [hadachi@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:hadachi@staff.kanazawa-u.ac.jp)

電話 090-7957-2497